

発明の名称： 有機化合物、その製法、有機液晶、有機半導体など



【発明の概要】

高い移動度と高い熱安定性と溶解度を有する有機半導体材料を見出した。この構造の結晶膜は、結晶膜の持つ表面平滑性と均一性を保持するため、有機半導体として有用である。また、従来の物質に比べて溶解度が高く、溶液プロセスによる半導体薄膜の作製に有効である。また、従来の有機半導体に比べて、移動度は2桁ほど高い。

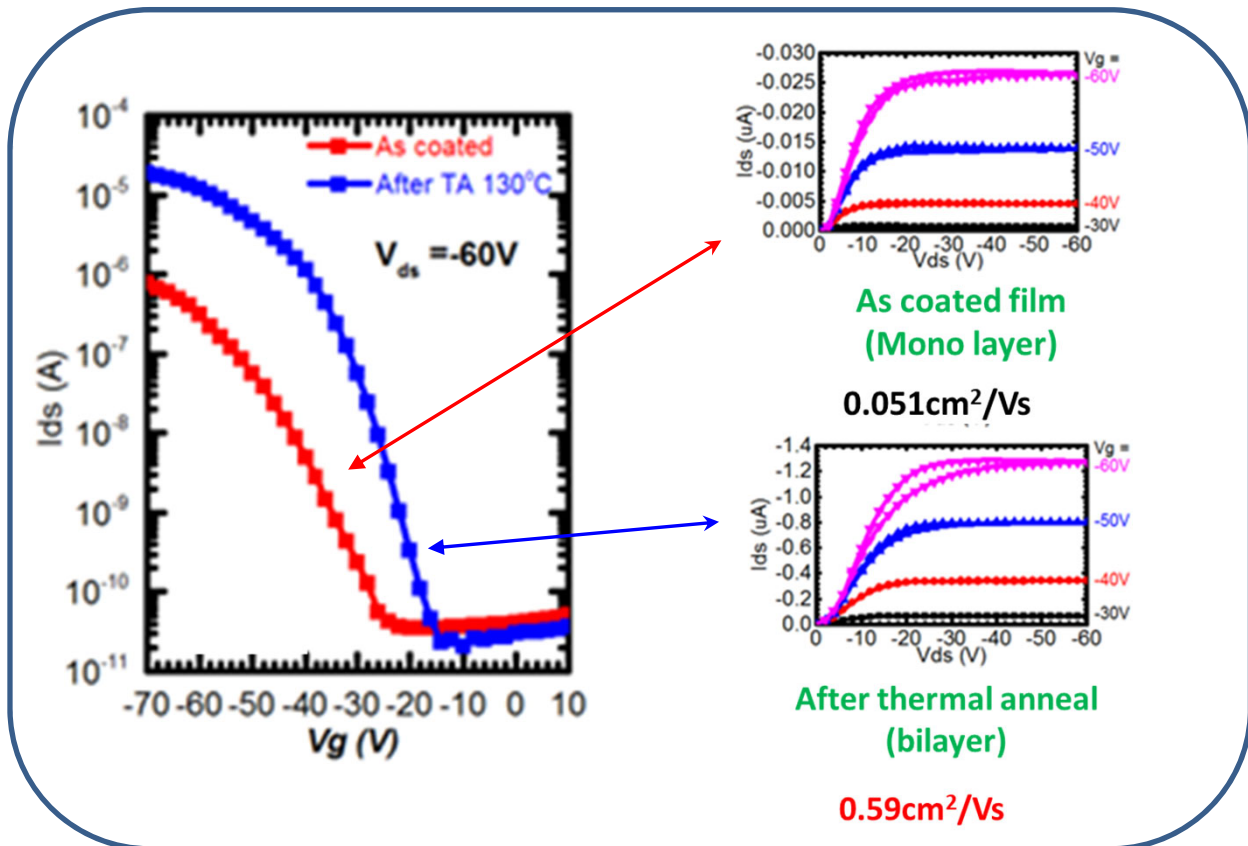


図1. 本材料の薄膜トランジスタ特性

【応用分野・適用製品】

プリントエレクトロニクス、有機トランジスタ

【産学連携会員企業の皆様へのアピールポイント！】

従来の物質に比べて溶解度が高く、溶液プロセスによる半導体薄膜の作製に有効

【本発明の特許出願情報】

出願番号: 2018-215810

出願日: 2018年11月16日

発明者: 飯野 裕明、半那 純一、岡村 寿、Wu Hao

出願人: 東京工業大学

【開示の整理番号】 17T168

【お問い合わせ先】

国立大学法人東京工業大学 研究・産学連携本部

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

TEL: 03-5734-2445 FAX: 03-5734-2482

E-mail: Usuki[at]sangaku.titech.ac.jp メールアドレス内の[at]は@に置き換えてご送信ください。